

犬や猫の健康管理やしつけは飼い主の責任



ペットも大切な家族 飼い主は今一度大切な家族の管理徹底を

暮らしに安らぎを与えてくれる犬や猫などのペット。その一方で、無責任な飼い方によるトラブルが増えています。市にも犬や猫に関する苦情がたくさん寄せられていて、多いのは「庭にフンをされた」「鳴き声がうるさい」など飼い主が気を付ければ改善できる内容がほとんど。人間と動物が共に安心して暮らせるように、ペットの飼い方には十分気を付けましょう。

その餌付けで不幸な猫を増やさないで

「かわいそうだから」「かわいいから」と安易な気持ちで飼い主がいらない猫にエサを与えていません



悪いのはぼくたちじゃないよ
飼い主の皆さん、ぼくたちを
ちゃんとお世話してね

か。猫が集まると、フンや尿、鳴き声などさまざまな影響を周囲に及ぼします。また、新たな子猫が生まれ、結果的に飼い主がいらない不幸な猫を増やしてしまうことにもつながります。自分で飼うことができないなら猫にエサを与えるのは止めてください。

あなたのかわいい犬は他人にとって怖い犬

普段はおとなしい犬でも、刺激が多い屋外では少しのことで驚いて人や他の犬にかみつことがあります。「自分の犬は大丈夫」という考えは禁物。県の条例で犬の放し飼いは禁止されています。絶対にやめてください。放し飼いの犬を見つけたら、市生活環境課へ連絡してください。

また、犬の散歩中に屋外でフン尿をすると、他人の私有地や公共の場所を汚してしまいます。できるだけ排泄は自宅ですませてから散歩へ行きましょう。やむを得ず散歩中にフンをしたときのために、ティッシュペーパーやビニール袋を持ち歩くのは当然のマナー。尿をしたときに洗い流せるように、ペットボトルなどに水を入れて持ち歩くのも忘れないでください。

【問】同課環境係 (☎ 77・8485)

消費生活センター

海産物の電話勧誘トラブルに注意

【事例】以前カニを購入した業者から電話があり「またカニを購入しないか」と勧誘された。一度は断ったがしつこく勧誘され、断りきれずに承諾してしまった。落ち着いて考えると、やはり不要なのでキャンセルしたい。

【アドバイス】例年、年末になると海産物の電話勧誘に関する相談が、消費生活センターに多く寄せられます。電話勧誘のやりとり中に、「契約しない」と意思表示した人に対して、勧誘を続けることは禁止されています。必要ないときは、「結

構です」など曖昧な言葉ではなく、「必要ないです」とはっきり断りましょう。

契約してしまっても電話勧誘の場合、8日以内であればクーリング・オフできます。また、トラブルを防ぐために勧誘電話を受けたときには、事業者名や電話番号などをメモしておくようにしてください。また、商品が届いてしまったときは、宅配業者にクーリング・オフすることを伝えて受け取り拒否しましょう。伝票に書かれた差出人の情報をメモして消費生活センターへご相談ください。

【問】消費生活センター（市役所大和庁舎1階商工・ブランド振興課内、午前9時～午後4時30分、☎ 76・1004）



火災の恐ろしさを児童が図画で思い思いに表現

第48回防火ポスターコンクールの入選作品36点が決定しました

火災の恐ろしさや火の取り扱いを考えてもらおうと、市内の小学生を対象に募集した第48回防火ポスターコンクールの入選者が決まりました。今年は627点の応募があり、36点が入選。11月13日の表彰式では、田島消防長が入選者に賞状や記念品を贈りました。入選者は次のとおりです（敬称略、かっこ内は学校名）。

【1年生】▷金賞＝篠川匠真（藤吉）▷銀賞＝宮本秀一（昭代第一）、松尾樹（垂見）▷銅賞＝伊豫隼平（柳河）、平田美帆（東宮永）、酒見岳杜（昭代第一）

【2年生】▷金賞＝田島迅翔（藤吉）▷銀賞＝高橋昊太郎（垂見）、待鳥心春（城内）▷銅賞＝坂井陽向（藤吉）、野中航希（皿垣）、川野正義（藤吉）

【3年生】▷金賞＝北原歩（昭代第一）▷銀賞＝江口楓空（蒲池）、石井陽奈心（昭代第一）▷銅賞＝江口瑞紀（昭代第一）、高橋あかり（垂見）、藤丸千沙妃（有明）

【4年生】▷金賞＝重松優杏（昭代第一）▷銀賞＝千倉瑠太（垂見）、中村一花（豊原）▷銅賞＝三上莉乎（蒲池）、横山美月（柳河）、平川悠翔（六合）

【5年生】▷金賞＝西田麗乃（柳河）▷銀賞＝本園彩華（蒲池）、田中心陽琉（中島）▷銅賞＝塚本晴喜（柳河）、石橋英奈（藤吉）、石橋和歩（同）

【6年生】▷金賞＝野口大豪（蒲池）▷銀賞＝太田虎雅（昭代第一）、成清咲希（昭代第二）▷銅賞＝中島望愛（城内）、上国料朱莉（豊原）、石井伶奈（六合）

【問】市消防本部予防課 (☎ 74・0121)



各学年の金賞作品

- ① 篠川匠真（藤吉 1）② 田島迅翔（藤吉 2）③ 北原歩（昭代第一 3）④ 重松優杏（昭代第一 4）⑤ 西田麗乃（柳河 5）⑥ 野口大豪（蒲池 6）

冬本番、高齢者の浴槽内での事故に細心の注意を

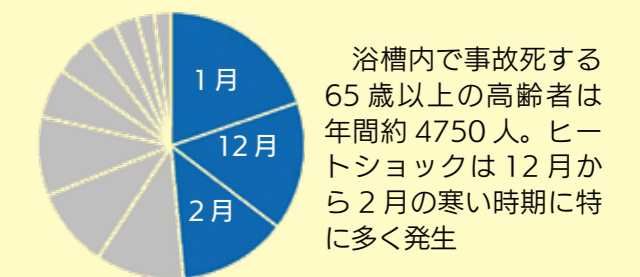
高齢者の浴槽内での死者数は交通事故の約2倍 脱衣所や浴室を暖めるなど対策を

寒さが本格化してきたこの季節、怖いのが急な温度変化によって失神などが起こるヒートショック。そこで今回はヒートショックを防ぐポイントをまとめました。

ヒートショックを防ぐポイント

- 脱衣所や浴室を暖める 暖房を入れたり、浴槽のふたを開けたりして、脱衣所や浴室を暖めましょう。
- 風呂の温度は41度以下、つかる時間は10分まで 半身浴でも、長時間の入浴は危険です。浴槽から立ち上がるときは、急に立ち上がらないようにしましょう。
- 食後や飲酒後の入浴を避ける 食後30分から1時間以内やお酒が抜けないうちは入浴を避けましょう。
- 入浴前に家族に声を掛ける 入浴中の事故は早期発

気温が低い12月から2月で全体の約半分



高齢者による浴室死亡事故数（R元年）【出典：消費者庁】

見が大切。入浴前に家族に声を掛けましょう。

【問】市消防本部予防課 (☎ 74・0122)